

第81期

中間事業報告書

平成17年4月1日から
平成17年9月30日まで

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

平成17年度上半期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期のわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し、また雇用面での改善傾向が持続し個人消費も底堅く推移するなど、民需主導に支えられ景気は緩やかな回復基調となりました。

石油化学業界におきましては、中国をはじめとするアジア向けの輸出が堅調に推移しましたが、原油価格が高騰を続け、原油高、ナフサ高の影響を受けた原料価格の高騰が収益を圧迫し、厳しい事業環境が続きまして。

このような状況のもと、当社グループは、「ZΣ（ゼットシグマ）運動」によるコスト削減活動を継続してまいりましたが、原料価格上昇により収益が大きく圧迫されたため、エラストマー素材事業を中心に採算是正のため販売価格の改定に取り組んでまいりました。また高機能材料事業においては、継続

して新製品の開発・拡販に努めてまいりました。

この結果、連結売上高は1,247億49百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は128億56百万円（前年同期比44.4%増）、経常利益は127億74百万円（前年同期比40.4%増）、中間純利益は72億92百万円（前年同期比61.4%増）となり、増収増益を達成することができました。

なお、中間配当金は、安定的、継続的な利益配当の方針に基づき、当初の計画どおり1株につき3円とさせていただきます。

今後につきましては、景気回復傾向は持続すると思われるものの、原油価格の高騰等、日本経済の先行きには不安要因も予測されます。当社グループは、昨年度策定しました中期経営計画「PZ-3」に掲げた目標の早期達成に取り組む一方、徹底的なコストダウンをさらに強化するとともに、独創的技術による新製品の研究開発速度をあげ、一層の企業価値の向上を目指していく所存です。

以上のような当社グループ全体の活動を、経営方針である、「スピード」、「対話」、「社会貢献」を通じて推進してまいります。あわせて、CSR活動にも積極的に取り組み、「誇れるゼオン」を目指していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

取締役社長 古河 直純

部門別の概況

エラストマー素材事業部門

合成ゴムの国内販売は、主要用途である自動車およびタイヤの需要は前年に引き続き堅調であったものの、当期は全体需要に 대응できず販売数量は前年同期を下回りました。合成ゴムの輸出販売は、国内と同様に中国およびアジアを中心とした旺盛な需要に応えきれず、販売数量は前年同期を下回りました。この結果、販売数量においては国内および輸出ともに前年同期を下回りましたが、高騰を続ける原料価格に対応すべく販売価格は是正を実施しました。なお、汎用品の販売数量は前年同期に比べ減少したものの、特殊品の一部は販売拡大により前年同期の販売数量を上回りました。海外子会社については、米国子会社は順調に推移しました。英国子会社は不振でありましたが、生産性の改善と新製品の立上げによる収益性改善に注力しております。以上の結果、合成ゴム全体では売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

合成ラテックスの国内販売は、販売数量は前年同期を若干下回りましたが、特殊品の増加および販売価格の是正により、売上高は前年同期を上回りました。一方、輸出販売につきましては、手袋用途が前期に引き続き好調で、その他用途向けにつきましても販売先の見直しにより改善を図った結果、売上高は前年同期を上回りました。この結果、合成ラテックス全体では売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連の販売は、石油樹脂につきましては需要減退等により前年同期を下回りましたが、熱可塑性エラストマーSISの販売は、荷練が厳しく輸出を中心に販売数量では前年同期を下回りましたが、原料価格上昇に対応した販売価格の是正の効果により、売上高は前年同期を上回りました。また、タイの石油樹脂子会社も順調に推移し、販売数量および売上高は前年同期を上回りました。この結果、化成品全体では売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は754億19百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は、79億70百万円（前年同期比85.8%増）となりました。

高機能材料事業部門

高機能樹脂（シクロオレフィンポリマー）関連では、液晶パネル用光学フィルム（ゼオノアフィルム）が好調で大きく売上を伸ばしました。また、光学レンズ用途、医療用途向け樹脂（ゼオネックス）の売上高も前年同期を上回りました。情報材料関連では、電子材料はエッチング用ガス（ゼオローラZFL-58）および電池材料が販売を伸ばしましたが、売上高はエッチング用ガスの売上高の計上方法を変更した影響で前年同期を下回りました。この結果、情報材料全体では、売上高は前年同期を上回りました。

化学品関連では、主力製品である合成香料はユーザーが自製化を始めたことなどにより販売数量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。特殊化学品の売上高は前年同期を上回りました。この結果、化学品全体では、売上高は前年同期を下回りました。

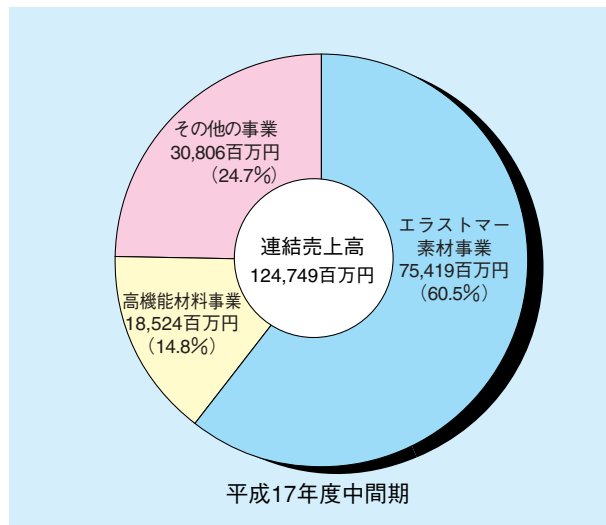
以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、185億24百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は43億84百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

その他の事業部門

その他の事業においては、環境事業および健康事業については前年同期並みとなりましたが、子会社の商事部門の売上高が大幅に伸びました。

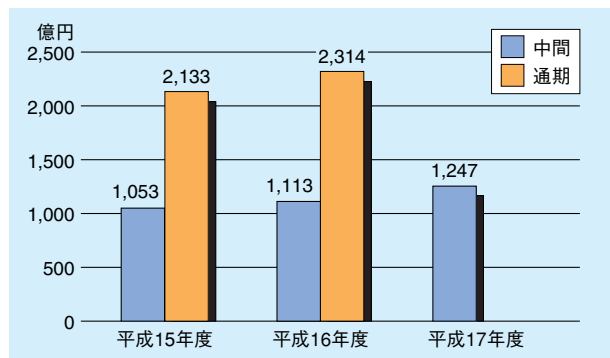
以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は311億22百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益は5億8百万円（前年同期比345.6%増）となりました。

部門別売上構成

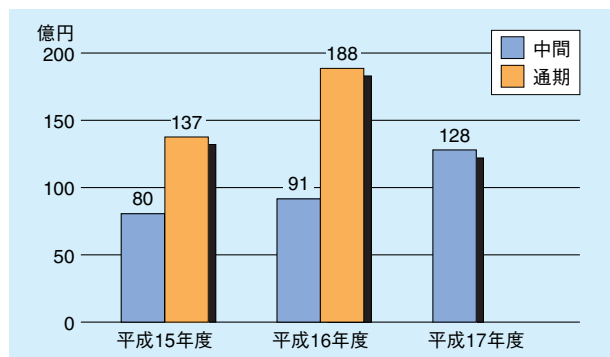


(注) 但し、部門別売上高は部門間の内部売上高または振替高を控除して表示しております。

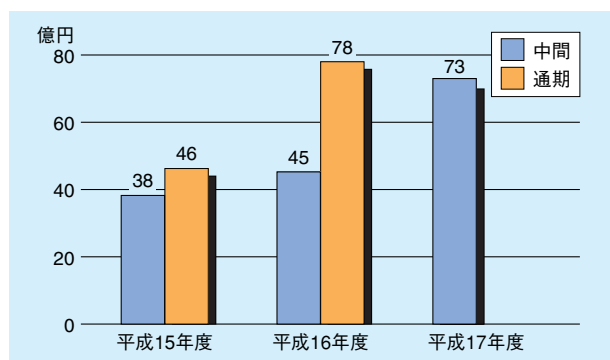
連結売上高の推移



連結経常利益の推移



連結中間(当期)純利益の推移



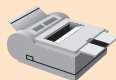
当社グループの主な事業内容

| | | |
|----------------|---------|--|
| エラストマー 素材事業 | 合成ゴム | スチレン・ブタジエンゴム 溶液重合スチレン・ブタジエンゴム ブタジエンゴム イソプレンゴム ハイ・スチレンゴム、ハイ・スチレンレジン アクリロニトリル・ブタジエンゴム NBR/PVCラテックス共沈ブレンド NBR/PVCドライブレンド 粉末NBR アクリルゴム エピクロル・ヒドリンゴム 水素化ニトリルゴム カーボン・マスターバッチ 合成ゴム系ポリマーアロイ |
| | 合成ラテックス | スチレン・ブタジエン系ラテックス ブタジエン系ラテックス アクリロニトリル・ブタジエン系ラテックス アクリレートラテックス 塩化ビニル系ラテックス ラテックスコンパウンド |
| | 化成品 | C ₉ 石油樹脂 熱可塑性エラストマーSIS コンクリート流動化剤 生コンクリート減水剤 水系分散剤 エポキシ硬化剤 |
| 高機能材料 事業 | 化学品 | 合成香料 C ₉ 系特殊化学品、医薬薬中間体 |
| | 情報材料 | 半導体ケミカル（フォトレジスト、電子線レジスト、剥離液、エッチングガス） トナー関連製品、磁気テープ用バインダー樹脂 |
| | 高機能樹脂 | シクロオレフィンポリマーおよび加工品 |
| その他の 事業 | R I M | 合併処理浄化槽、住宅設備部材 RIM配合液 建・農機用部材、ゲーム機外箱など |
| | 医療器材 | 内視鏡下の治療用各種カテーテルなど 塩化ビニル樹脂製造受託 塩化ビニルコンパウンド ブタジエン抽出技術 イソプレン抽出技術 |
| | その他 | プテン1抽出技術 合成ゴムおよび合成ラテックス製造技術 包装物流資材 建設・建築資材 |

世界に誇れる技術をご紹介します

光学用樹脂 ゼオネックス

ガラスとプラスチックの特性を併せ持つゼオネックス。OA機器、オーディオ、カメラのプリズム、レンズなどに大活躍しています。



重合法トナー

世界で初めて工業化に成功した重合法トナー。優れた解像力と高速印字に対応できるトナーとして、レーザープリンターやファクスなどに使われています。

半導体用エッチングガス ゼオローラ®ZFL-58

ゼオローラは、オゾン層を破壊しない、環境にやさしい最先端のエッチングガス。半導体製造工程で活躍しています。



RIM大型成形品

大型・複雑な形状のプラスチック製品を自由に成形。建設機械のパーツや住宅用の浴槽ユニット、合併処理浄化槽、洗面ボウルなどで活躍しています。

水素化ニトリルゴム ゼットポール®

熱や油、摩擦に強い特殊合成ゴム。タイミングベルトなど、自動車エンジンの最重要保安部品などに使われています。



光学用高性能フィルム ゼオノアフィルム®

ゼオノアフィルムはパソコンや携帯電話の液晶パネルに使用される位相差フィルムや偏光板保護膜、タッチパネル用透明導電膜などの光学用フィルムとして期待されています。

合成香料

化学合成によりつくられる、安全で高品質の合成香料。花・若葉・フルーツなど、さまざまな香りがあります。香水やシャンプー、食品用香料などの用途で世界の人々に使用されています。



汎用透明エンブラ ゼオノア

ゼオノアは、液晶モニターのバックライト導光板や大型液晶テレビのバックライトの拡散板として大きな注目を集めています。

中間連結貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|----------------|-----------------|----------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 流動資産 | 123,379 | 流動負債 | 126,776 |
| 現金及び預金 | 9,386 | 支払手形及び買掛金 | 58,903 |
| 受取手形及び売掛金 | 47,256 | 短期借入金 | 24,754 |
| 有価証券 | 25 | コマーシャルペーパー | 14,000 |
| たな卸資産 | 40,093 | 未払金 | 10,170 |
| 未収入金 | 19,259 | 引当金 | 2,386 |
| その他 | 7,467 | その他 | 16,563 |
| 貸倒引当金 | △ 107 | 固定負債 | 37,651 |
| 固定資産 | 129,718 | 長期借入金 | 16,166 |
| 有形固定資産 | 83,507 | 退職給付引当金 | 11,858 |
| 建物及び構築物 | 22,001 | その他の引当金 | 661 |
| 機械装置及び運搬具 | 38,185 | 連結調整勘定 | 393 |
| 土地 | 12,340 | その他 | 8,573 |
| その他 | 10,981 | 負債合計 | 164,427 |
| 無形固定資産 | 5,894 | 少数株主持分 | |
| 投資その他の資産 | 40,317 | 少数株主持分 | 2,505 |
| 投資有価証券 | 35,424 | 資本の部 | |
| その他 | 5,858 | 資本金 | 24,211 |
| 貸倒引当金 | △ 964 | 資本剰余金 | 18,372 |
| 繰延資産 | 5 | 利益剰余金 | 37,755 |
| 資産合計 | 253,102 | その他有価証券評価差額金 | 9,293 |
| | | 為替換算調整勘定 | △ 1,874 |
| | | 自己株式 | △ 1,588 |
| | | 資本合計 | 86,170 |
| | | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 253,102 |

中間連結損益計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------|---------|
| 売上高 | 124,749 |
| 売上原価 | 90,869 |
| 売上総利益 | 33,880 |
| 販売費及び一般管理費 | 21,024 |
| 営業利益 | 12,856 |
| 営業外収益 | 1,302 |
| 受取配当 | 75 |
| 受取替 | 412 |
| 為替差 | 332 |
| 貸譲 | 65 |
| 雑益 | 109 |
| 雑損 | 309 |
| 営業外費用 | 1,385 |
| 支払利息 | 317 |
| たな卸資産処分損 | 782 |
| 雑損 | 286 |
| 経常利益 | 12,774 |
| 特別利益 | 1,816 |
| 固定資産売却益 | 1 |
| 連結子会社の売却益 | 1,792 |
| その他 | 22 |
| 特別損失 | 2,957 |
| 固定資産処分損 | 811 |
| 投資有価証券評価損 | 41 |
| 訴訟関連費用 | 1,823 |
| その他 | 282 |
| 税金等調整前中間純利益 | 11,633 |
| 法人税, 住民税及び事業税 | 4,148 |
| 法人税等調整額 | △ 3 |
| 少数株主利益(△) | △ 195 |
| 中間純利益 | 7,292 |

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,046 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 9,469 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,693 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 173 |
| 現金及び現金同等物の減少額 | △ 942 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,295 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 9,352 |

中間貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|------------|---------|--------------|---------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 流動資産 | 73,073 | 流動負債 | 85,858 |
| 現金及び預金 | 1,343 | 買掛金 | 41,712 |
| 受取手形 | 178 | 短期借入金 | 11,601 |
| 売掛金 | 23,460 | コマーシャルペーパー | 14,000 |
| たな卸資産 | 23,784 | 未払金 | 12,023 |
| 未収入金 | 19,221 | 引当金 | 2,041 |
| その他の流動資産 | 5,086 | その他の流動負債 | 4,481 |
| 貸倒引当金 | △ 0 | 固定負債 | 27,335 |
| 固定資産 | 116,809 | 長期借入金 | 12,625 |
| 有形固定資産 | 65,376 | 退職給付引当金 | 10,601 |
| 建物 | 14,326 | その他の引当金 | 592 |
| 機械装置 | 30,463 | その他の固定負債 | 3,516 |
| 土地 | 8,677 | 負債合計 | 113,194 |
| その他の有形固定資産 | 11,908 | 資本の部 | |
| 無形固定資産 | 2,112 | 資本金 | 24,211 |
| 投資その他の資産 | 49,321 | 資本剰余金 | 18,335 |
| 投資有価証券 | 45,046 | 資本準備金 | 18,335 |
| その他の投資 | 5,096 | 利益剰余金 | 26,846 |
| 貸倒引当金 | △ 821 | 利益準備金 | 3,026 |
| 資産合計 | 189,883 | 任意積立金 | 10,522 |
| | | 中間未処分利益 | 13,297 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 8,882 |
| | | 自己株式 | △ 1,587 |
| | | 資本合計 | 76,688 |
| | | 負債及び資本合計 | 189,883 |

中間損益計算書 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------|--------|
| 売 上 高 | 71,378 |
| 売 上 原 価 | 50,140 |
| 売 上 総 利 益 | 21,238 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,729 |
| 営 業 利 益 | 7,508 |
| 営 業 外 収 益 | 1,432 |
| 営 業 外 費 用 | 668 |
| 経 常 利 益 | 8,272 |
| 特 別 利 益 | — |
| 特 別 損 失 | 1,121 |
| 税引前中間純利益 | 7,151 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,418 |
| 法人税等調整額 | △ 184 |
| 中 間 純 利 益 | 4,916 |
| 前 期 繰 越 利 益 | 8,381 |
| 中 間 未 処 分 利 益 | 13,297 |

備考 事業の概況、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書および中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）の記載金額は、それぞれ百万円未満四捨五入により表示しております。

ただし、中間貸借対照表および中間損益計算書は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

会社の概要 (平成17年9月30日現在)

商 号 日本ゼオン株式会社 (ZEON CORPORATION)

設 立 昭和25年4月12日

資本金 242億1千1百万円

事業所

本 社 東京都千代田区丸の内1-6-2（新丸の内センタービル）
〒100-8246 電話03（3216）1772

大阪事務所 大阪市淀川区西宮原1-8-29（テラサキ第二ビル）

名古屋事務所 名古屋市名東区本郷3-134（TAKビル）

高岡工場 富山県高岡市荻布630

川崎工場 川崎市川崎区夜光1-2-1

徳山工場 山口県周南市那智町2-1

水島工場 岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1

総合開発センター 川崎市川崎区夜光1-2-1

従業員の状況

| 従業員 | 人数 | 平均年齢 | 平均勤続年数 |
|---------|--------|-------|--------|
| 男 性 | 1,901名 | 44.5歳 | 22.8年 |
| 女 性 | 122 | 34.2 | 13.0 |
| 合計または平均 | 2,023 | 43.9 | 22.2 |

(注) 上表には当社関連企業への出向者を含みます。

株式の状況 (平成17年9月30日現在)

株式の状況

会社が発行する株式の総数 800,000,000株

発行済株式の総数 242,075,556株

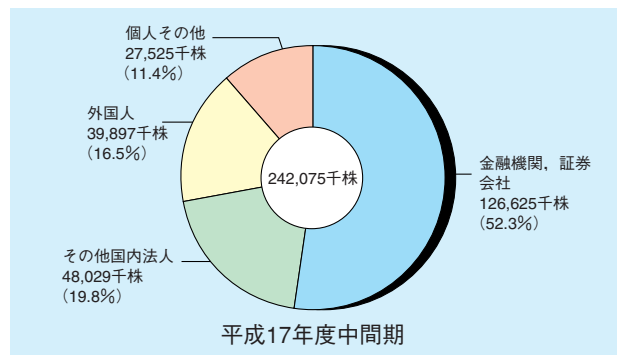
株主数

11,549名 (前期末比3,488名減)

大株主

| 株 主 名 | 当社への出資状況 | |
|---|--------------|------------|
| | 持株数 | 議決権比率 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) | 千株 31,879 | % 13.29 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 18,511 | 7.72 |
| 古河電気工業株式会社 | 14,032 | 5.85 |
| 横浜ゴム株式会社 | 11,632 | 4.85 |
| 朝日生命保険相互会社 | 7,679 | 3.20 |
| みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口再信託 受託者資産管理サービス信託 | 6,479 | 2.70 |
| 旭化成ケミカルズ株式会社 | 6,438 | 2.68 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4) | 5,505 | 2.30 |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 5,122 | 2.14 |
| 株式会社みずほ銀行 | 4,989 | 2.08 |

株式の所有者別状況



役

員 (平成17年9月30日現在)

| | |
|-------|-------|
| 取締役会長 | 中野克彦 |
| 取締役社長 | 古河直純 |
| 専務取締役 | 山崎正宏 |
| 常務取締役 | 宮本正文 |
| 常務取締役 | 夏梅伊男 |
| 取締役 | 岡田誠一 |
| 取締役 | 小倉由郎 |
| 取締役 | 南忠幸 |
| 取締役 | 荒川公平 |
| 取締役 | 伏見好正 |
| 取締役 | 岩田峰郎 |
| 取締役 | 三ツ堀修一 |
| 取締役 | 武上博章 |
| 取締役 | 田中公章 |
| 取締役 | 柿沼秀一 |
| 常勤監査役 | 香川大章 |
| 常勤監査役 | 平松暎章 |
| 監査役 | 富永靖雄 |
| 監査役 | 藤田讓樹 |
| 監査役 | 石原民樹 |

株主メモ

| | |
|----------------|--|
| 決算期日 | 3月31日 |
| 配当金受領 株主確定日 | 3月31日および中間配当を行うときは 9月30日 |
| 基準日 | 3月31日（そのほか臨時に必要なときは、あらかじめ公告します。） |
| 公告方法 | 日本経済新聞 |
| 決算公告ホームページ | http://www.zeon.co.jp/kessankoukoku/ index.html |
| 名義書換代理人 | 中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号(〒105-8574) |
| 同事務取扱所 | 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 電話 東京 (03) 3323—7111(大代表) |
| 同取次所 | 中央三井信託銀行株式会社全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店 |



日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目6番2号（新丸の内センタービル）
〒100-8246 電話 03 (3216) 1772

<http://www.zeon.co.jp>